

なんでも揃うのが鯉沢河岸跡マーケットの魅力

地元の野菜も沢山出店されています



ふらり、訪れてほしい朝市。

巻頭集

鯉沢河岸跡マーケット

その町の雰囲気を感じるなら、朝市はうってつけ。しかも、月に数回開催しているという市なら、より日常に近い温度で町の活気や空気を味わうことができる。富士川町の「鯉沢河岸跡マーケット」は毎月第2、第4日曜に開かれる朝市。ふらりと立ち寄れば、キラリ光る商店街の個性とそこにしかない出逢いの数々。地元の魅力を再発見できる、穏やかな時間が流れている。



富士川町内の「愛菜館」で人気をあつめる「千代ちゃんのコロッケ」は鯉沢河岸跡マーケットの人気店です

自分たちの町を自分たちで盛り上げよう!!



富士川町で野菜を作っている井上さんの野菜も並びます

はいまった当初から人気の干物店



「賑わいの場をつくる」
元氣な町をさりげなくアピール

富士川町の「鯉沢河岸跡マーケット」。毎月第2、第4日曜の朝8時30分から午後2時まで開催されている「朝市」は、地域の特色を感じるのにぴったりのサイズ感。気合いを入れて下調べをしなくても、ふらりと楽しめる気軽さがい。

会場は国道52号沿いで、静岡方面からも甲府方面からもアクセス良好。絶えず人が訪れ、とれたて新鮮な野菜やフルーツ、地域の特産である洋ナシや柚子の加工品、地元で評判のコロッケやカレーパンなどのお惣菜を手にも満足そうな表情をした来場者たちの姿が目に見え、60軒近く並ぶ出店は、食べ物から雑貨、衣類、骨董、マッサージのサービスまでと多岐にわたる。「制約が少なく、自由な出店ができることが「鯉沢河岸跡マーケット」の特色の一つ」と、富士川町観光物産協会の堀口進さんは話す。

「もともとは、商店街に人を呼び戻そうと始まった朝市です。朝市にきてもらって、商店街の店を知ってもらって。そこから興味を持ってもらい、普段から町や商店街に人が訪れてくれるようにという狙いがありました」
始まりは平成23年9月。市町村合併から1年経ち、町や商店街に活気をと始められたマーケットだった。

肩肘はらない朝市で
快活な人々に出逢う

清々しい空気に包まれた5月22日のマーケット。テントやキッチンカーなど53の出店でこぢんまりとした会場はほどよく埋め尽くされている。出店者部会会長の郡司総一郎

富士川町で兼業農家をしている井上浩さんも、鯉沢河岸跡マーケット開催当初からの出店者。「農家は多いが、自分の家の分だけ：なんて方も少なくない。多くの人と協力しながら農業を盛り上げたいのですが、なかなかうまくはいかないですね」と、人とのつながりの大切さを口にします。井上さんが作る野菜の加工品はとても人気。「活の白菜漬け」(100円)はとくにファンとリピーターが多い。

地域ぐるみで切磋琢磨！
多くの人に訪れてもらうために

5年以上続いている鯉沢河岸跡マーケットだが、「課題や改善点はたくさんある」と堀口さん。特に出店者が減ってきてしまっていることには、寂しさが募る様子だ。

「開催当初は今よりも会場が広がったこともあり、JAや商工会から地元の経営者や生産者にもっと声をかけていました。今は会場が小さくなってしまったこともあり、出店者が減ってしまった。特に地元の出店者が減っていることは悲しいですね。一方で静岡から干物を販売に来てくれたり、値段のついていない骨董の販売があったりという、何でもある「パラエティ」感は健在。出店者部会ができるなど、出店者間でも「どうやって人を呼ぶか」を考え始めてくれているのも嬉しいことです。出店の充実や訪れた人

さんはイベント出店のベテラン。イベントに合わせて販売内容や店舗名を変えるなどしている。この日のお店は「おかずや」。富士川町特産の柚子を使った「柚子ソフト」や、毎回大人気という「米粉のカレーパン」など魅力的なフードが用意されていた。

「富士川の商店街のシャッターはほとんど下りているのが現状。なんとかして賑わいを取り戻したい」と思い「鯉沢河岸跡マーケット」に参加しています。私はこのマーケットの他にも様々なイベントにも出店していますが「あのキッチンカーはどこのお店?」「富士川町の商店街のお店だよ」と、私の店を通してこの地域とお店を知るきっかけになってほしいと思っています。イベントごとに販売内容を変えているのも、その場を訪れる人により興味を持つてもらえる内容にと考えた結果です」

郡司さんは、峡南地域を軸に約40年間にわたって移動スーパーを経営してきた。しかし、時代の流れとともに、移動スーパーの需要が少なくなり、業態を変更。現在は「キッチンカー販売」で各種イベントをまわり、地元をPRすることに力を注いでいる。



みんなの笑顔に心が和みます

がもっとゆったり過ごせるようなスペースの確保など、頭をひねりながらより面白いマーケットに成長させられればと思います」ととれたて&出来立ての名物を味わうことができる。人や物との出逢いを楽しむことができる。予定のない日曜の朝は、富士川町の「鯉沢河岸跡マーケット」へ、ふらり寄り道してみませんか?

鯉沢河岸跡マーケット

時間 / 8:30 ~ 14:00
小雨決行(荒天中止)
毎月第2・第4日曜日
場所 / 富士川町富士橋西側町有地(鯉沢税務署南側)



※お客様の駐車場は会場内にあります

